

市町村名	小牧市	窓口	小牧市保健センター
住所	〒485-0044 小牧市常普請一丁目318番地		
電話	(0568) 75-6471	FAX	(0568) 75-8545
E-mail	hokensen@city.komaki.lg.jp	URL	
【周産期医療機関へのPRコメント】 小牧市では、母子健康手帳の交付を子育て世代包括支援センター（こども家庭センター）で実施しています。 子育て世代包括支援センターでも、妊娠期から子育て期の各種相談等受け付けています。ポルトガル語・スペイン語の通訳が平日勤務（9時30分～17時30分） 名 称：子育て世代包括支援センター 住 所：〒485-0041 小牧市小牧三丁目555 電 話：(0568) 71-8611 FAX：(0568) 71-8612 E-mail：k-neuvola@city.komaki.lg.jp			
母子健康手帳交付			
場所	子育て世代包括支援センター		
交付方法	個別（予約制）		
スタッフ職種	保健師、助産師		
→保健師以外の場合の 気になるケースへの対応	来所された妊婦にアンケートを実施し、アンケート結果を基にどの職員でも統一した支援方針を出せるアセスメントシートがありそれに基づいて判定、支援担当・方法について決定する。また、2回/月の担当者カンファレンスで情報共有、方針の検討を実施。		
市町村独自アンケート	有		
内容・特徴	小牧市独自の親子健康手帳（母子健康手帳）の活用方法の説明を通して、「相談者の有無」や「支援者の有無」、「自分から相談できるか」、「精神疾患の有無」など聴取し、出産前後の支援の必要性の有無を判断。		
こども家庭センター			
有 ・ 無（設置予定時期）			
名称	子育て世代包括支援センター		
場所	子育て世代包括支援センター（商業施設 ラピオ3階）		
スタッフ職種	所長、統括支援員、保健師、助産師、保育士、社会福祉士等		
内容・特徴	妊産婦の方や子どもとその家庭が安心安全な生活を送れるよう、妊娠から出産、子育ての間の心配や不安や疑問、相談を保健師や助産師、社会福祉士、家庭児童相談員、ヤングケアラーコーディネーター等の専門職が対応。支援や保護が必要と思われる子どもやその家庭に対して、必要に応じて関係機関と連携を図り支援を行います。		
パパママ教室・両親学級等			
名称	あつまれ！たまごファミリー		
時期・回数	6回／年		
会場	子育て世代包括支援センター		
対象者	妊婦とその家族		
スタッフ職種	保育士、保健師		
申込み方法	インターネット等で予約		
内容・特徴	・「赤ちゃんへのかかわり方」 ・ 妊婦体験やヨガなど		

	・小牧市の子育てに役立つ情報提供 ・子育て支援室からの応援メッセージ		・遊び場や相談場所などのお知らせ ・交流会など	
子育て支援に関する事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）				
名称	多胎家族応援講座　“ツインブルファミリー”			
時期・回数	来館型　　7回／年			
会場	子育て世代包括支援センター			
対象者	多胎妊婦と0歳～3歳（年少前）の多胎家族			
スタッフ職種	助産師、保健師、保育士			
申込み方法	インターネット等で予約			
内容・特徴	多胎妊婦さんや多胎家族の交流、情報交換をします。			
マタニティサロン・広場等				
名称	産前ヨガ	産後ヨガ	タッチケア	子育てサロン
時期・回数	5回／年	6回／年	12回／年	2回／月
会場	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター	子育て世代包括支援センター
対象者	妊娠16週～36週未満の妊婦（主治医の許可が必要）	首がすわってから産後10か月のお子さんとその母	生後2か月～6か月のお子さんとその保護者	生後4か月～7か月のお子さんとその保護者
スタッフ職種	外部講師・保育士	外部講師・保育士	助産師・保育士	保育士
申込み方法	インターネット等で予約	インターネット等で予約	インターネット等で予約	インターネット等で予約
内容・特徴	妊娠中の運動不足を解消しながら心と体をリフレッシュします。	赤ちゃんと一緒にヨガを通して、産後のリフレッシュをします。	ベビーマッサージで赤ちゃんとのスキンシップを楽しみます。	月齢の近いお子さんのママ同士の交流・情報交換の場
産前・産後サポート事業／産前・産後ヘルパー				
名称				
時期・回数				
場所				
対象者				
スタッフ職種				
利用方法				
内容・特徴				
産後ケア事業				
名称	産後ケア事業			
会場	小牧市と契約した医療機関等			
対象者	ショートステイ・デイケア：4か月未満の母子、アウトリーチ：12か月未満の母子の 市内に住民登録がある下記の全ての項目に当てはまる方 ① 産後ケアを希望するもの			

	② 感染症疾患に罹患していないもの ③ 母に心身の不調があり、医療行為が必要でないもの（医師が対応可能であると判断したもの は除く）			
スタッフ職種	助産師、医師等			
利用方法	子育て世代包括支援センターへご相談ください。（利用の３日前までに申請が必要）			
内容・特徴		ショートステイ（宿泊）	デイケア（日 帰り）	アウトリーチ（訪問）
	利用時間	10 時～翌 16 時 （食事付）	10 時～16 時 （昼食付）	9 時～17 時までのうち 3 時間程度
	内容	母親の休養、母親の身体的ケア・保健指導、授乳ケア（乳房ケアを含む）、 育児指導・相談		
	利用上限	あわせて 7 日まで		
	利用料	1 割負担（生活保護・非課税者の場合減免あり）		
		1 日あたり 3,000 円	1 日あたり 2,000 円	1 日あたり 1,000 円
子育て世帯訪問支援事業			養育支援訪問事業 専門的相談支援	
対象者	妊娠期より支援が必要と考えられる母 産後育児支援が必要と考えられる母		妊娠期より支援が必要と考えられる母 産後育児支援が必要と考えられる母	
スタッフ職種	ヘルパー		助産師、保健師	
里帰り先への訪問	なし		他市在住の方が小牧市の実家に滞在している 場合は訪問実施	
申込み方法	窓口		オンラインもしくは電話	
内容・特徴	必要に応じて継続的な支援につなげる。		必要に応じて継続的な支援につなげる。	
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは 赤ちゃん訪問
対象者	妊娠期からの支援が必 要と考えられる妊婦		退院後、届出から連 絡し訪問を希望され る親子	生後 4 か月までの乳児を 持つ親子
時期	妊娠中		生後 4 か月の頃まで	生後 4 か月頃まで
家族からの 申し込み方法	有		有	有
医療機関からの依 頼方法	文書（場合によっては T E L する）		文書（場合によっ ては T E L する）	文書（場合によっ ては T E L する）
スタッフ職種	保健師又は助産師		助産師	助産師
里帰り先への訪問	有		有	有
内容	妊娠や産後の育児に関 する相談		助産師が家庭訪問 し、身体計測、授乳方 法確認、育児相談他	助産師が家庭訪問し、身 体計測、授乳方法確認、 育児相談他
育児相談				
担当部署	子育て世代包括支援センター			保健センター

名称	育児相談	測定・相談	オンライン育児相談	育児相談
時期・回数	28回／年	1～2回／月	随時	随時
場所	市内7箇所の児童館	すくすくパオーンルーム (子育て支援室) (子育て世代包括支援センター内)		保健センター
対象者	乳幼児の親子		妊娠中から子育て中の方	乳幼児の親子
スタッフ職種	保健師・助産師・保育士		保健師・助産師・保育士・社会福祉士等	保健師・栄養士・歯科衛生士
方法	申し込み方法:インターネット予約(一部会場予約)		メールにて要予約	電話等で予約
内容・特徴	乳幼児の身体計測、育児相談		Zoomを用いた個別相談	育児相談
電話相談				
担当部署	子育て世代包括支援センター			保健センター
名称	相談専用電話	流産・死産等を経験された方の相談窓口	こまき妊娠SOS	育児相談
対象者	子どもを持つ保護者	流産や死産を経験された方	思いがけない妊娠や望まない妊娠について悩んでいる方。	子どもを持つ保護者
曜日・時間	年末年始をのぞく 平日午前9時30分～午後5時30分	平日午前9時～午後5時30分	平日午前9時30分～午後5時30分 ※メール相談でも対応可能。	土日・祝日・年末年始を除く 午前8時30分午後5時15分
電話番号	(0568) 75-2005	(0568) 71-8611	(0568) 75-2005	(0568) 75-6471
スタッフ職種	保健師・助産師・保育士	保健師・助産師	保健師・助産師	保健師・栄養士・歯科衛生士
内容・特徴	電話による相談			
離乳食教室・子育て教室等				
名称	ごっくん教室	かみかみ教室	にこにこむし歯予防教室	歯っぴー子育て講座
方法	集団	集団	集団＋個別	集団
時期・回数	12回	12回	12回	6回
会場	保健センター	保健センター	保健センター	子育て世代包括支援センター
対象者	4か月児以降の保護者	9か月児以降の親子	1歳前後の乳児とその保護者	乳幼児とその保護者
スタッフ職種	管理栄養士	管理栄養士・歯科衛生士	歯科衛生士	保育士・歯科衛生士

申込み方法	電話・窓口にて予約	電話・窓口にて予約	電話・ネットにて予約	電話・窓口にて予約
内容・特徴	離乳食の進め方とポイント・試食	むし歯予防と離乳食についてのポイント・試食	むし歯予防やお口の育て方についての講話、個別相談	遊びや口腔機能の発達・歯科疾患予防についての講話
5 歳児健診				
有 ・ 開始予定 （ 年度 ） ・ 無				
名称	5 歳児健康診査			
方法	集団健診			
時期・回数	令和 7 年 5 月～ 年間 36 回			
対象	令和 7 年度に満 5 歳を迎える児とその保護者			
健診事後教室等				
名称	なかよし教室		おひさまサロン	
方法	集団		集団	
場所	保健センター		保健センター	
対象者	1 歳 6 か月を過ぎて、かかわりづらさのある子でかかわりづらさを感じている親や、子どもとの付き合い方を学びたい親		なかよし教室終了後、より具体的な子どもとの付き合い方、働きかけ方を学びたい親	
スタッフ職種	保健師・保育士		保育士	
利用方法	健診や育児相談等で支援が必要だと感じられる親に紹介		なかよし教室終了後、支援が必要と感じられる親に紹介	
内容・特徴	6 回／クールで保護者は遊びを通して児の特徴を理解し対応について一緒に学ぶ		なかよし教室終了後も同様の内容で継続的に参加し、児の特徴を理解した対応を習得し子育てに自信をもつ	
思春期保健に関する事業				その他事業
名称	小牧市作成「生と性のカリキュラム推進事業」 ① 小学校・中学校・高等学校への性教育 ② 幼年期性教育 ③ 安心相談カードの配布 ④ 自己肯定感DVD・動画配信			歯科保健事業 ①保育園歯みがき教室 ②歯っぴースマイル歯みがき教室
時期・回数	① 各校の実情に合わせて実施 ② 希望する幼稚園・保育園・こども園で実施 ③ 年 1 回 一学期に配布 ④ 乳幼児健診時及び市ホームページ			① 5 月～ 7 月・各園年 1 回 ②各校の実情に合わせて実施・年 1 回
対象者	① 小学校 2 年生とその保護者、中学校 3 年生の生徒、高等学校生徒（各校と応相談で対応） ② 幼児及び保護者 ③ 中学生と高校 1 年生の生徒 ④ 4 か月の児を持つ保護者及び市民			①保育園園児 ②小学校 4 年生と中学校 1 年生～ 3 年生
スタッフ職種	保健師・養護教諭・助産師、思春期保健相談士			歯科衛生士

申込み方法	保健センターへ電話等で相談、申込み	①ネットで第1～第3希望までアンケート実施 ②保健センターへ電話または FAX
内容・特徴	① 小学校へ出向き助産師等が性教育を実施 中学校・高等学校へ出向き保健師が性教育を実施 ② 園へ出向き助産師・保健師が性教育を実施 ③ 中学生、高校1年生への安心相談カードの配布(相談機関紹介) ④ 4か月児健康診査、健康教育等にて自己肯定感についての健康教育・DVDの配布、動画配信	①歯科衛生士がエプロンシアターでむし歯予防について講話、年長児のみ赤染めを実施。 ②歯科衛生士が、むし歯予防や歯周病予防について講話、小学校4年生は赤染めを実施。